

比較2: 経済想定、歳出パターンの違いによる比較(財政の姿)

(3つの経済想定)

2010年世界経済順調回復シナリオ

2010年世界経済急回復シナリオ

世界経済底ばい継続シナリオ

(共通の想定)

基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応
消費税率を据え置き

(2つの歳出パターン)

(2010, 2011年度)

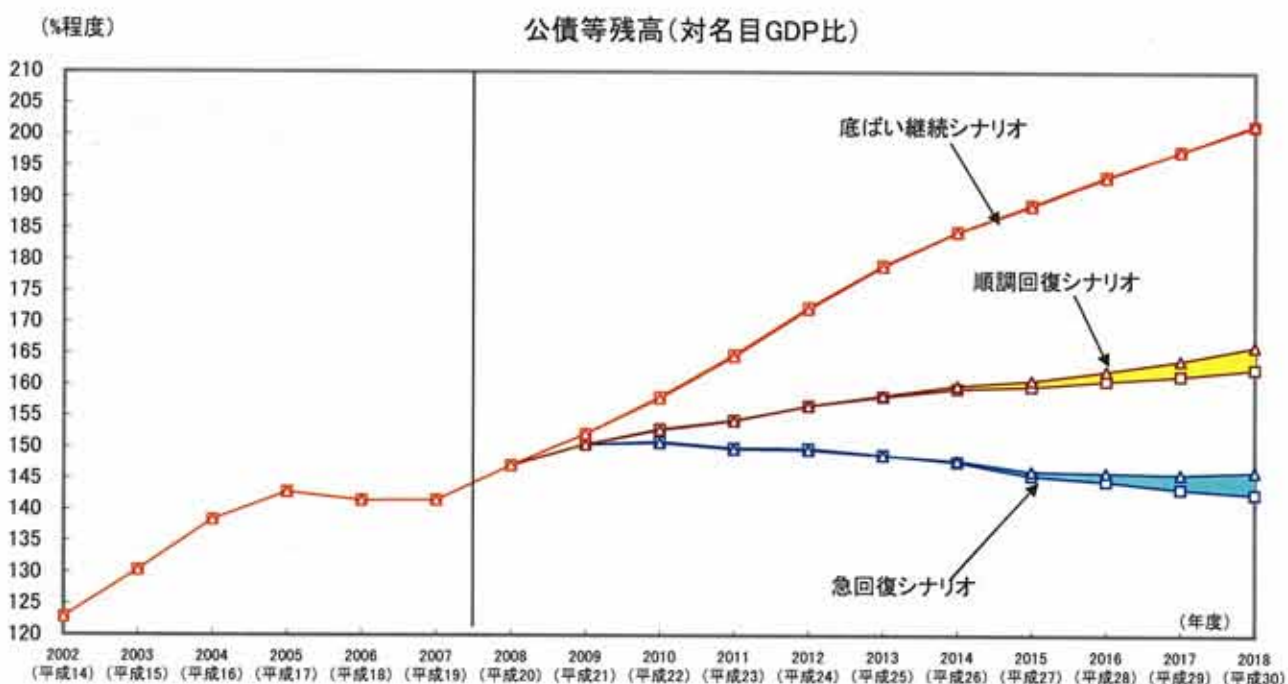
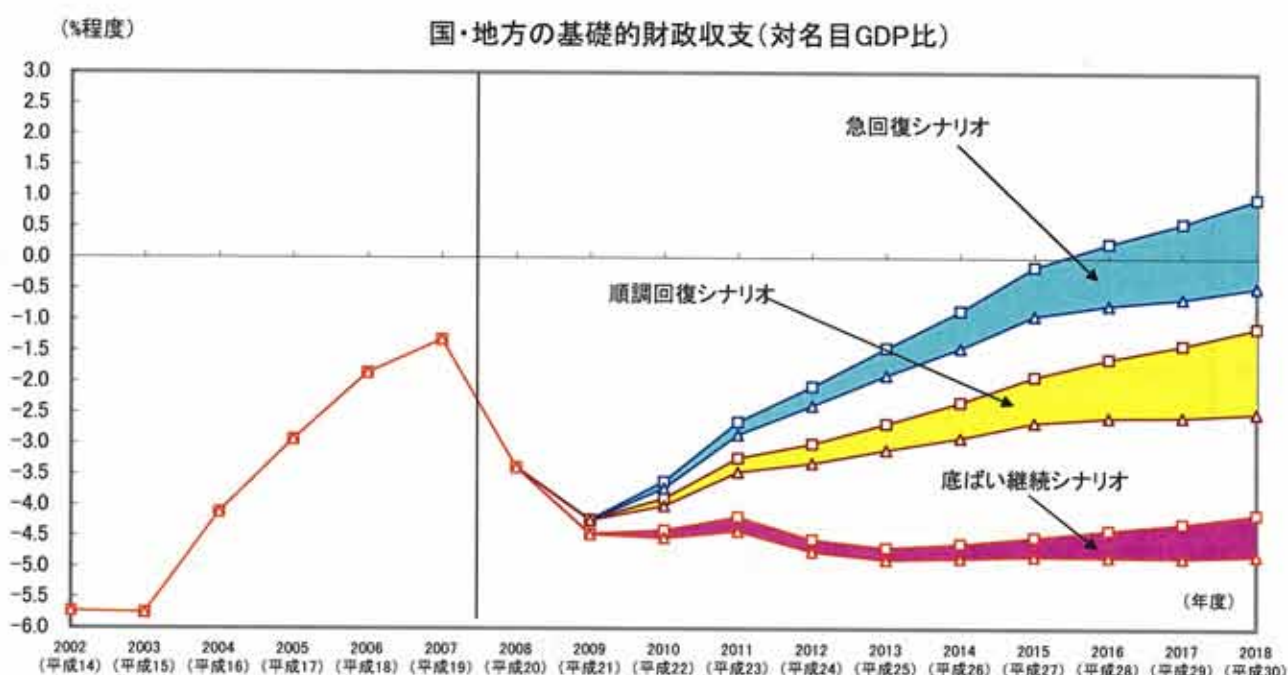
(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減 & 非社会保障歳出名目額横ばい

→ グラフ上は□印

▲11.4兆円歳出削減 & 非社会保障歳出物価上昇率並増加

→ グラフ上は△印



比較3-1:消費税率引上げ幅の違いによる比較(マクロ経済の姿) (2010年世界経済順調回復シナリオの場合)

(共通の想定)

2010年世界経済順調回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(ただし、消費税率を据え置くケースでは、基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減 & 非社会保障歳出名目額横ばい

(3つの消費税率引上げ幅)

消費税率を据え置き

2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

→ グラフ上は+印

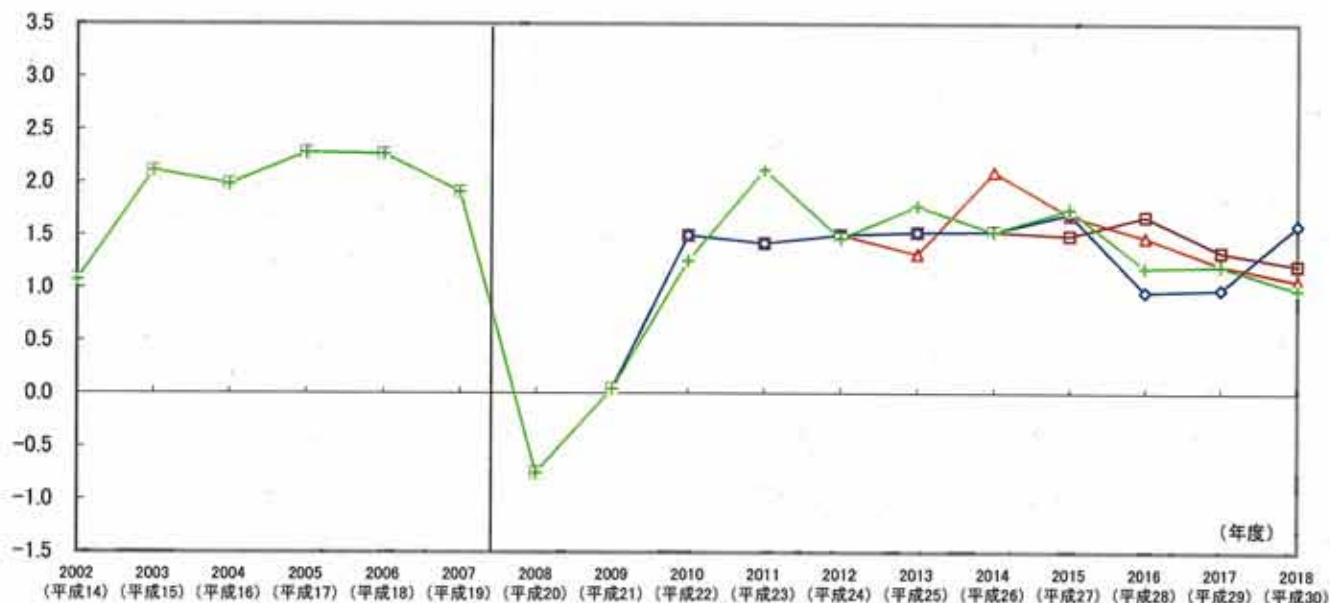
→ グラフ上は△印

→ グラフ上は□印

→ グラフ上は◇印

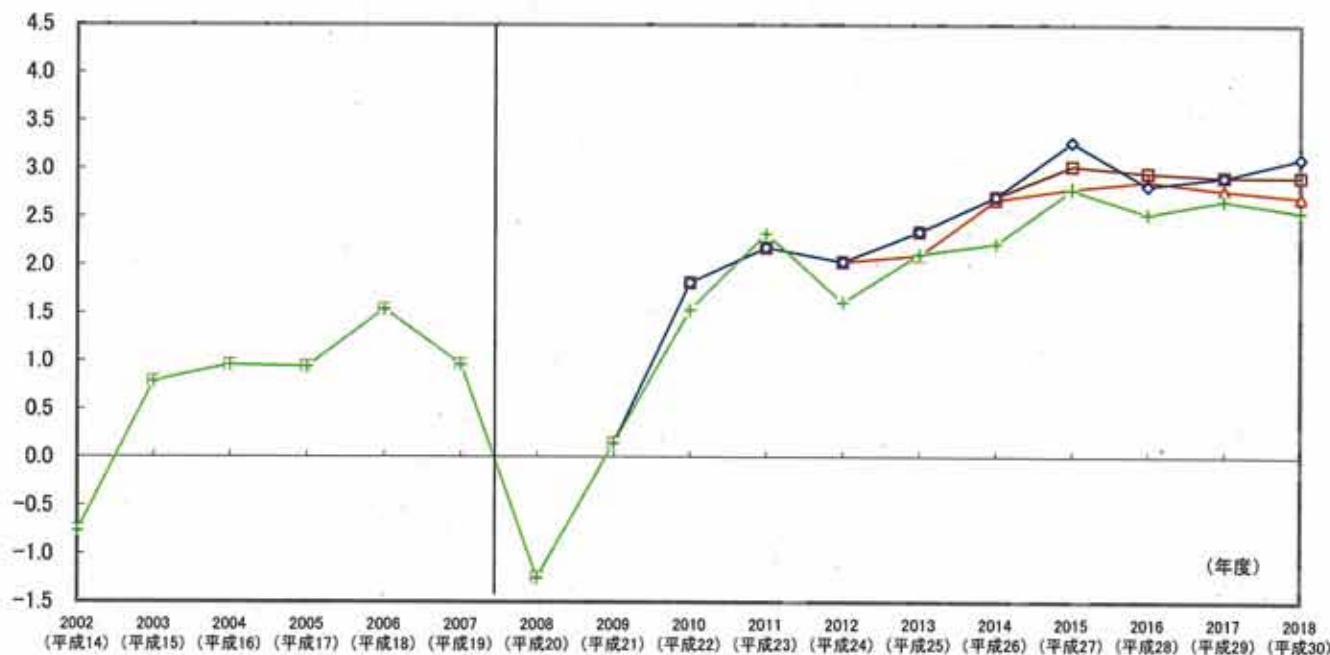
(%程度)

実質成長率



(%程度)

名目成長率



比較3-1:消費税率引上げ幅の違いによる比較(財政の姿) (2010年世界経済順調回復シナリオの場合)

(共通の想定)

2010年世界経済順調回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(ただし、消費税率を据え置くケースでは、基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目額横ばい

(3つの消費税率引上げ幅)

消費税率を据え置き

2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

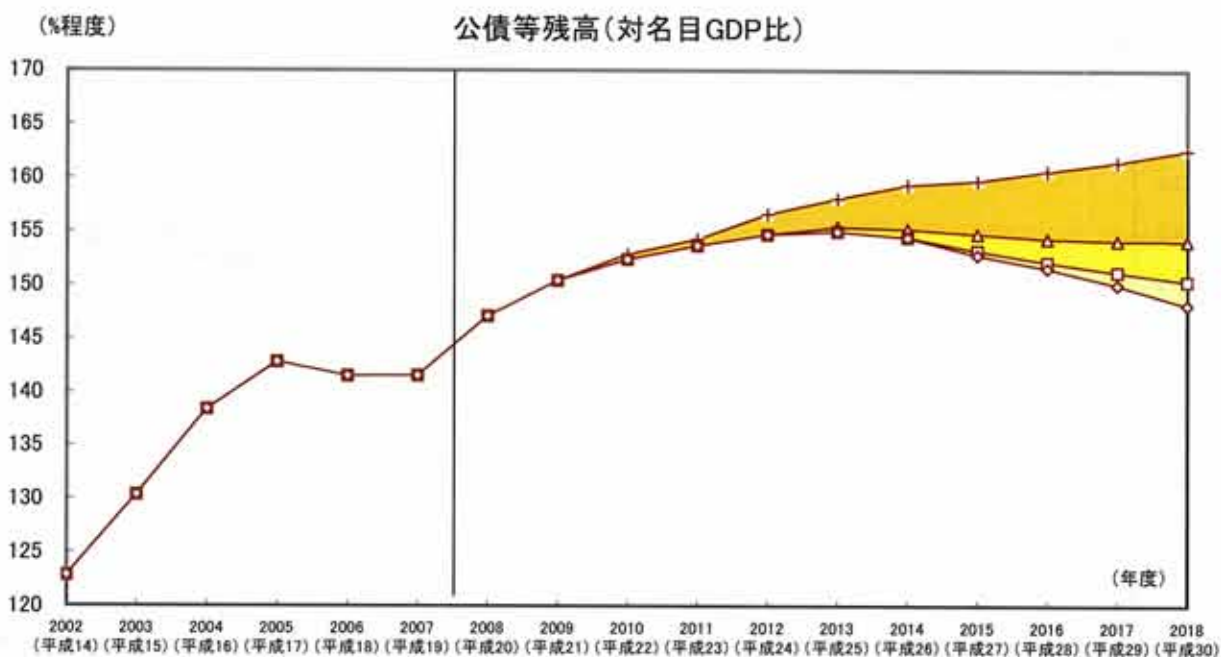
2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

→ グラフ上は+印

→ グラフ上は△印

→ グラフ上は□印

→ グラフ上は◇印



比較3-2:消費税率引上げ幅の違いによる比較(マクロ経済の姿) (2010年世界経済急回復シナリオの場合)

(共通の想定)

2010年世界経済急回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(ただし、消費税率を据え置くケースでは、基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目額横ばい

(3つの消費税率引上げ幅)

消費税率を据え置き

2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

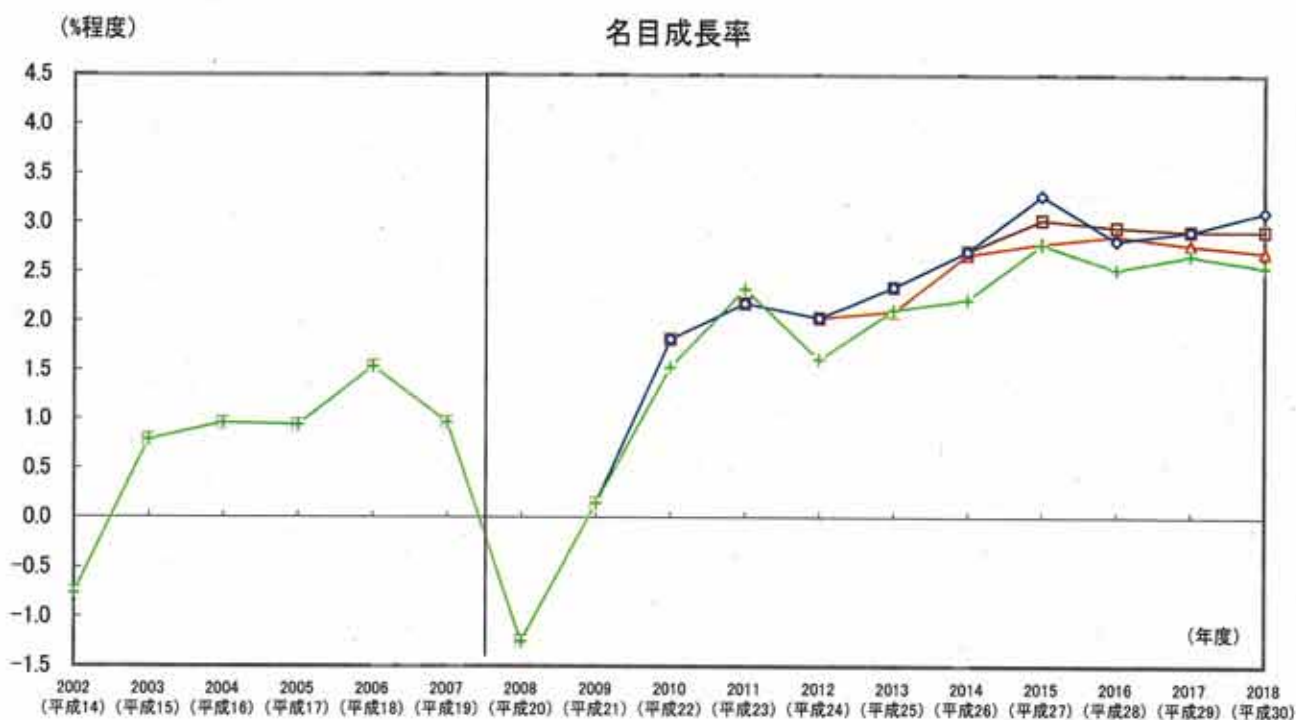
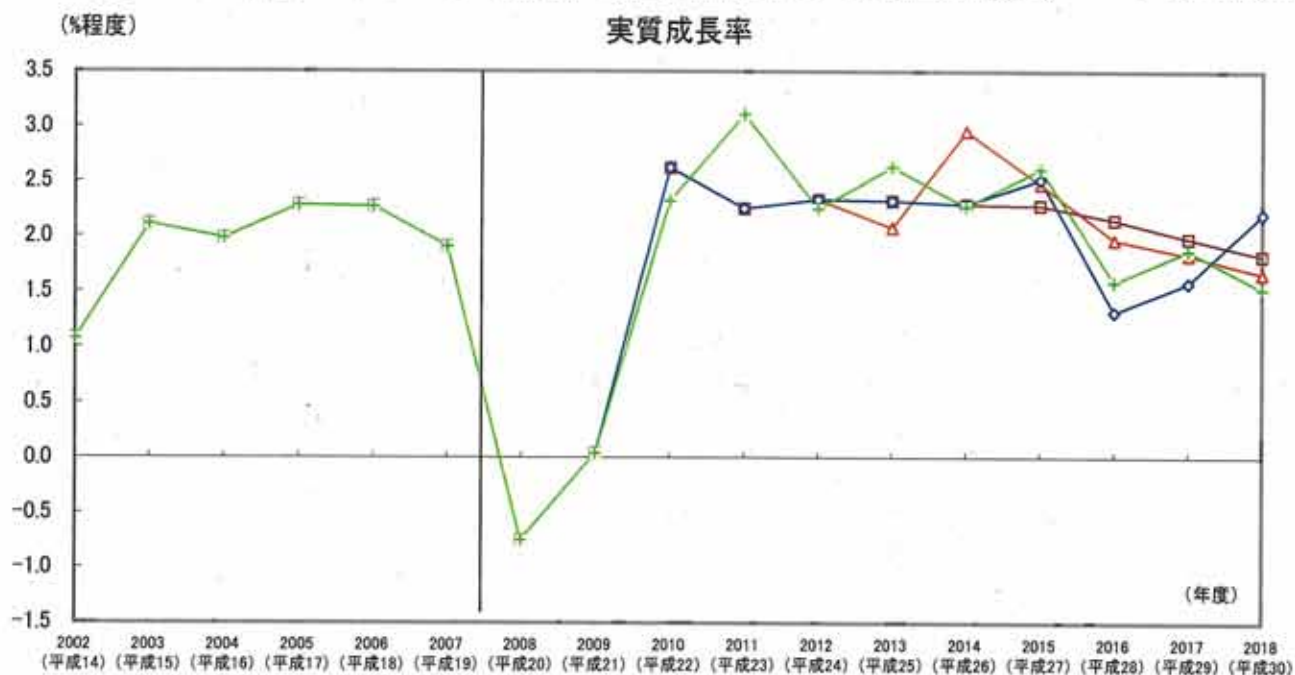
2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

→ グラフ上は+印

→ グラフ上は△印

→ グラフ上は□印

→ グラフ上は◇印



比較3-2:消費税率引上げ幅の違いによる比較(財政の姿) (2010年世界経済急回復シナリオの場合)

(共通の想定)

2010年世界経済急回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(ただし、消費税率を据え置くケースでは、基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目額横ばい

(3つの消費税率引上げ幅)

消費税率を据え置き

2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

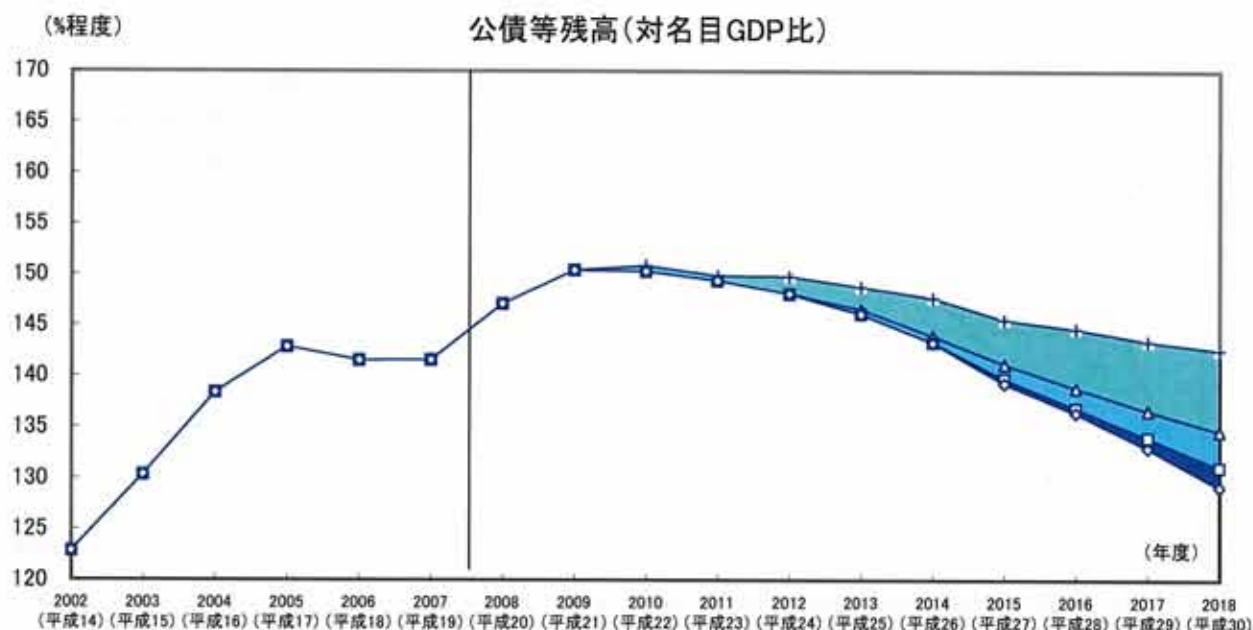
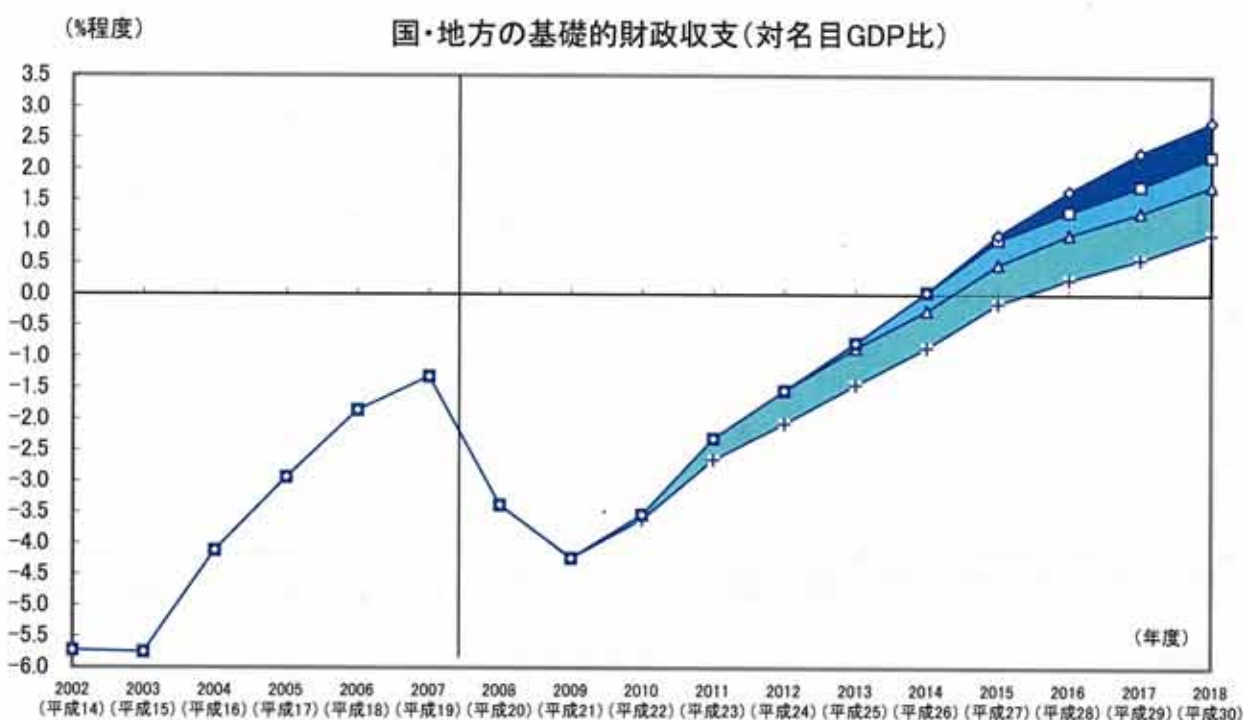
2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

→ グラフ上は+印

→ グラフ上は△印

→ グラフ上は□印

→ グラフ上は◇印



比較3-3:消費税率引上げ開始時期の違いによる比較(マクロ経済の姿) (2010年世界経済順調回復シナリオの場合)

(共通の想定)

2010年世界経済順調回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目額横ばい

(3つの消費税率引上げ開始時期)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定) → グラフ上は□印

2013年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上2013年度に3%、2014、2015年度に1%ずつの引上げを想定)

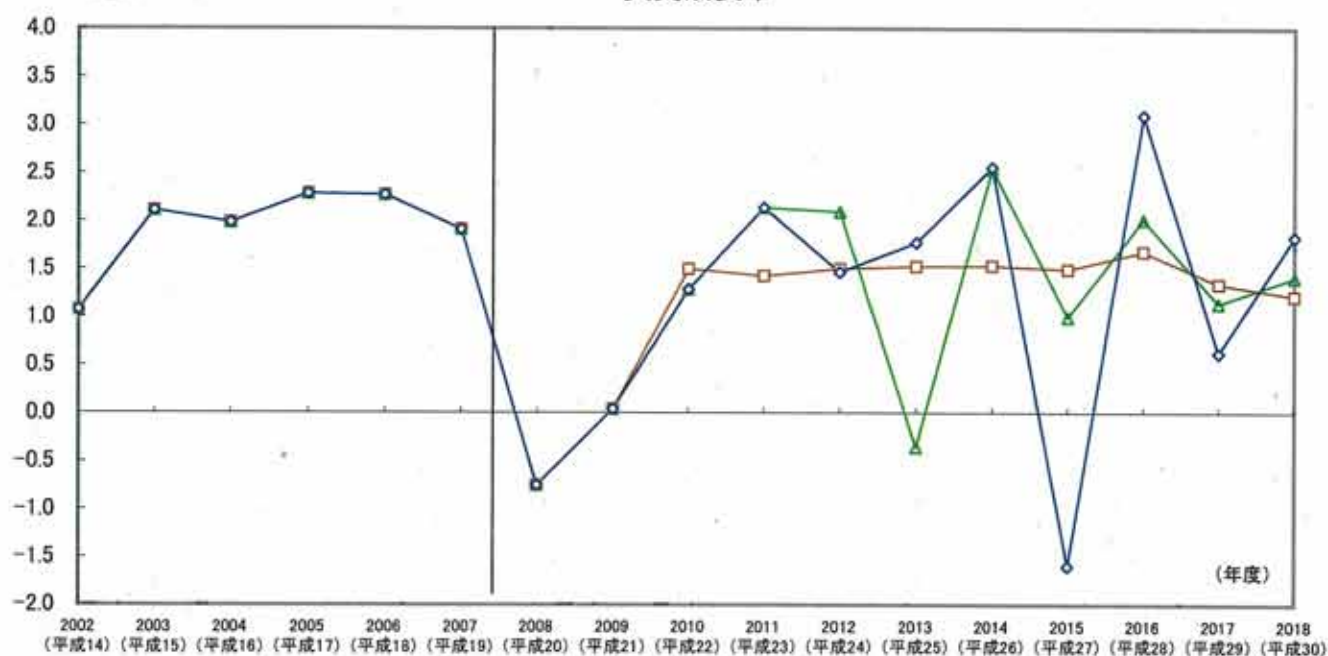
→ グラフ上は△印

→ グラフ上は◇印

2015年度に5%引上げ

(%程度)

実質成長率



(%程度)

名目成長率

